

市民提案型協働事業実施計画書

協働事業名	えちごやまパークライフプロジェクト
事業目的	1 解決する地域課題の内容 本市において越後山土地地区画整理事業（組合施行）が進み新しい住民が増えているが、一方で住民の高齢化が進んでいる。今後、自治会等の活動により地域住民の地域への関心の向上、住民相互の交流の促進を図り、地域の安全安心を高めていくことが課題となっている。 2 課題解決に対する市民ニーズ（課題として提起する根拠等） 地域住民にとって身近な公園となる（仮称）越後山地区公園の整備（平成27年3月頃）をきっかけとして、住民自らが公園を楽しく利活用し、住民同士が活発に交流するとともに、公園の維持管理にも携わることで、“私たちの街、私たちの公園”という地域への愛着に裏打ちされた住民自身による地域管理意識が醸成されることを目的とする。 3 その他（これまでの経緯と実績） （仮称）越後山地区公園は、組合施行による土地地区画整理事業で整備される公園（提供公園）で、街区公園として位置づけられている。設計にあたっては、「南1丁目街区公園住民ワークショップ」で市民や地域住民の意見も取り入れられた。また、平成25年度には、「和光市まちづくり寄附金」により「防災に関する事業」として、災害用トイレ（マンホールトイレ）が整備された。 本協議会は、南1丁目の越後山地区のまちづくりを目的として、越後山自治会、緑自治会、越後山土地地区画整理組合により平成23年6月に設立された新しい組織である。協議会では、持続可能な地域社会を形成することを目的に、土地地区画整理事業と併行して、コミュニティ形成と住みやすい地域づくりを推進してきた。これまで、安全安心マップづくりの取組や夏まつり、秋の収穫祭、防災訓練などを恒例的に事業化している。 これらの活動は、地域住民だけでなく、地域の事業者、市内の事業者、土地地区画整理組合、そして行政との連携、協働の取組により発展してきている。 和光市では、総合振興計画において、「施策9 計画的な公園の整備と維持管理の充実」の中で、市民との協働による公園の見守りや維持管理を進めていくことが位置づけられている。また、都市計画マスタープランでは第6章「まちづくりの実現に向けて」において、将来のまちの実現に向けて、市民、事業者、行政といった主体がまちづくりの目標を共有し、各々が適切な役割分担のもと自立し、協力しあう「協働のまちづくり」を推進していくことが重要と

	している。 本協議会としては、これまでの「協働の取組み」を、市の計画に基づいて、本事業を一つの梃子として、住民自身により一層発展させたいと考えている。
問題解決の手法	1 問題解決の方策 (仮称) 越後山地区公園において、住民が公園で楽しく過ごすことを目指した“えちごやまパークライフプロジェクト”を実践していく中で、公園を通じた住民同士の交流を促進するとともに、これまでに地域で実施してきている四季を通じた地域のイベントと連携し、楽しく公園の芝刈り、花壇の植栽管理及び園内の清掃活動を実施する。 2 問題解決の独自性及び先駆性 “公園”をまちの舞台と考え、公園の新しい使い方、楽しみ方のプロジェクトを住民がアイデアを持ち寄り実践する。その活動を通して、第一に、子どもからお年寄りまでの多世代間交流が生まれ、第二に地域の安全安心を高める取組が一層活発になり、第三に、公園をはじめとしたまちの維持管理の仕組みづくりと結びつき、第四に、持続可能な地域社会づくりへと結びつく。 3 想定される問題及び対策 ・問題：公園の活用を想定したプロジェクトの各取組や公園の維持管理、清掃等に係る用具類、万が一の際の参加者の保険などの費用面のほか、参加呼び掛けなど常に新しい人が参加できる工夫が必要。 ・対策：必要な備品類等に関する予算措置をお願いするとともに、自治会の回覧板や土地区画整理組合の広報、ITによる情報発信などを活用して参加を呼び掛ける。 4 その他
役割分担	1 提案団体が果たす役割 事業の企画運営全般と広報物の作成及び配布 参加者の募集、問い合わせなどの窓口 2 市に期待する役割 公園を活用した地域づくりの取組への理解をお願いしたい。 イベントを活用した事業実施の際、市報や市ホームページなどの各種媒体により広報をお願いしたい。 プロジェクトの各取組を実現していくため、市内の植物に詳しい団体、読書活動団体、芸術家や文化団体、写真愛好会など人や団体を講師として紹介いただきたい。
協働の必要性	1 協働の必要性 ・地域の核となる公園を最大限活かすための多様な公園の使い方を市内に広めていくことや、様々な世代、分野の人たちが公園に集うことで住民同士の交流が生まれ、地域への愛着が育まれることが期待できる。こうした取組を進めるなかで、住民による自主的な公園の

	維持管理の可能性を広げていくことにより、地域にあった市民と行政との協働による公園の維持管理のモデルを実現していくことが期待できる。 2 協働による相乗効果 ・当団体にとっては、地域にできる公園を広く住民の方々に活用してもらうこと、住民同士の交流が図られ、公園での活動を通じて主体的に公園の維持管理や地域に関心を持つ住民が増えることにより、地域の新たな担い手の確保などの地域課題に貢献することが期待できる。 ・市にとっては、公共施設としての公園維持管理という面から、地域住民の自主的な活動により、市民と行政が役割分担しながら維持管理を協力して進めていくことが期待できる。同時に、公園の新しい使い方や楽しみ方という面から、市内の公園に様々な取組が波及し、各地域で住民同士の交流が深まっていくことも考えられる。 ・地域にとっては、公園を通じた住民同士の出会い、交流の機会ができることにより、顔と顔の見える関係をつくっていく中で、日頃からの見守りや支え合いにつながることを期待できる。
個別事業の内容 (事業ごとに記入)	1 事業名 えちごやまパークライフプロジェクト ・ 目的 “公園整備” をきっかけに、公園で楽しく過ごすことを目指した“えちごやまパークライフプロジェクト”を進め、公園の新しい使い方や楽しみ方を地域で共有しながら公園の活用を促進する。同時に、プロジェクトと連携した地域のイベントによって公園の維持管理や清掃活動を進める中で、地域への愛着を育み、子どもから高齢者まで多世代が一緒に交流できる機会をつくる。 ・ 成果 地域の中で世代を超えた交流が生まれ、子どもから高齢者まで地域への関心が高まり、地域の見守りや安全安心、交流の活発化などコミュニティづくりへと波及していく。 ・ 内容 “えちごやまパークライフプロジェクト” 次の①から⑤のプロジェクトの各取組は、子ども、若者、子育て世代、高齢者などの世代間交流を促進することを基本として実施する。①～⑤の各取組は、既に行っているもの（以下*印）に加えて、新たな取組を進めていく。 ①公園での“食”を楽しむプロジェクト i) 公園での持ちよりによる朝食・昼食・夜食会 ii) 公園での朝市、直売会（地元農家との連携） iii) 公園での柿酢づくり *現在実施中 iv) 公園ピクニック交流会 ②公園での“学び”を楽しむプロジェクト i) 公園でものづくり（陶板づくり等）*現在実施中 ii) 公園での昔遊びの伝承（子どもの昔遊び） iii) 公園で読書の交流会（絵本の読み聞かせ等）

	③公園での“体験”を楽しむプロジェクト i) 公園で健康づくり（体操、ヨガ体験等） ii) 公園で撮影交流会（花の写真等） iii) 公園アート体感イベント（作品、パフォーマー等） iv) 公園での朝活・夜活交流会（天体観測等） ④公園の芝刈りと清掃プロジェクト（①～③の各取組、夏まつり、秋の収穫祭、冬の防災訓練とタイアップした公園内の芝刈りと清掃）＊現在、地区内パトロール時に実施中。 ⑤公園花壇プロジェクト（子どもとお年寄りの交流による春秋の花壇植え込みと植栽の管理などのグループを設けて取り組む）＊現在街かど広場（ポケットパーク）で実施中 ・ 実施日程 ①平成27年5月～平成28年3月 ②平成27年5月～平成28年3月 ③平成27年5月～平成28年3月 ④平成27年5月、8月、10月、平成28年3月（各イベントの時期に合わせて開催） ⑤平成27年5月、9月、11月（それ以外の月は、月一回程度花壇グループで植栽を管理） ・ 参加予定者 越後山地区の住民、地元農家、市内の植物に詳しい団体、子ども読書活動団体や読書グループ、芸術家や文化団体、写真愛好会、近隣の保育園、幼稚園、小学校 等 ・ 実施場所 （仮称）越後山地区公園 ・ 予算額 376,434円
事業の実施体制	1 人的体制 ・越後山自治会 253名 ・緑自治会 153名 ・和光市越後山土地区画整理組合 51名（上記以外） ・協議会の中に公園活用部会を設けるとともに、花壇グループを立ち上げ、地域住民からもメンバーを募る。 2 提案する協働事業の特長（知識、経験、実績等） 公園を身近に感じてもらうため、公園の新たな使い方や楽しみ方を広げることを目的に公園を楽しむ様々なプロジェクトを立ち上げ、公園の利活用を促進するとともに、越後山地区の定番となってきた夏祭り、秋の収穫祭、防災訓練などのイベント等を活用した公園の維持管理を進め、公園を通じた世代間の交流の促進や地域への愛着の醸成を図る。
年間スケジュール	（四半期ごとに取り組む内容を記載してください。） 第1四半期：プロジェクト準備（年間プログラムづくり等）、呼掛け、芝刈り、春の花壇植え込み

	第2四半期：プロジェクト実施、芝刈り、花壇の植栽維持管理、園内の清掃（夏まつり） 第3四半期：プロジェクト実施、芝刈り、秋の花壇の植え込み、花壇の植栽維持管理、園内の清掃（秋の収穫祭） 第4四半期：プロジェクト実施、芝刈り、花壇の植栽維持管理、園内の清掃（防災訓練）
協働の成果	1 団体 次年度以降のプロジェクトの担い手の確保、市内の様々な団体や学校等との連携の拡大 2 行政 公園の利活用の促進、自主的な公園の維持管理の促進 3 地域 公園利用者の増加、住民同士の交流の促進、地域への愛着の醸成、継続的な地域の防災・防犯、見守りなどの活動の促進
成果指標	プロジェクトの各取組の際に参加者へアンケートを行い、今後の継続的な活動の意向や、参加しての満足度などを年代別に把握する。その際、地域への愛着、防災や防犯、公園の植栽管理などの関心も伺い、次年度以降の継続的な活動へとつなげながら世代間交流をさらに進めていく。 ①地域住民や市民による公園での活動グループが結成される。 ②街区公園は半径250mを対象とした公園という位置づけから、夏まつり時には、周辺住民（夏に帰省している家族を含む）を中心として約1,000人の参加者を得る。 ③公園を活用した本事業による取組のほかに、掃除、花壇の管理など小規模な取組が毎月取り組まれる。
事業と関連する団体の特徴及び活動実績	1 提案する協働事業に関連する知識、技術等（団体の特長） 当団体は、越後山自治会と緑自治会の会員で構成されていることから、越後山地区の状況、歴史的背景なども踏まえた活動を実施することが可能であるとともに、地域への愛着も強い。 2 提案する協働事業に関連する活動実績 越後山地区夏まつり、秋の収穫祭、防災訓練の企画運営の実績。
他団体とのネットワーク（協力、共催等）	・地元農家、農業者団体に協力を依頼予定。 ・和光市内の植物に詳しい人又は団体に協力を依頼予定。 ・和光市内の子ども読書活動団体や読書グループに協力を依頼予定。 ・和光市内の芸術家や文化団体等に協力を依頼予定。 ・和光市内の写真愛好会等に協力を依頼予定。 ・近隣の保育園、幼稚園、小学校などに、プロジェクトの取組について参加の呼び掛け予定。 ・その他、各取組の中で必要が生じた人や団体へ協力を依頼予定。
事業の実施年度以降のスケジュール	本事業の終了後も定期的に継続して公園を楽しむ様々なプロジェクトを進めながら、公園の維持管理や清掃活動を楽しみながら企画として取り組み、地域への愛着を育むとともに、地域の見守りや安心安全の向上と地域活動への参加を促していく。

※ A4サイズ5ページ以内で、できるだけわかりやすく、具体的に記載してください。